

IMFの世界経済見通し

～世界景気の回復が一段と進む～

IMF(国際通貨基金)は、2017年前半の経済状況を踏まえた最新の世界経済見通しを10月10日に発表しました。新たな見通しでは、米国は財政拡大による景気刺激は遠のいたものの、実体経済の堅調さを評価したことに加え、ユーロ圏、カナダ、日本のより力強い景気回復が期待されることなどから、世界の成長率予測は2017年を3.6%、2018年を3.7%と、7月時点の予想からそれぞれ0.1%ポイント引き上げました。

先進国の成長率予測は、17年を2.2%、18年は2.0%に引き上げました。米国経済は減税による景気刺激は織り込まないものの、今年前半の経済成長を評価し、17年は2.2%、18年は2.3%と上方修正しました。一方、ユーロ圏は、緩和的な金融環境や政治リスクの低下による輸出の持ち直しから、また、日本は内需と設備投資、輸出が堅調なことを背景に、17年、18年ともに上方修正しました。

新興国の成長率予測は、17年を4.6%と据え置き、18年は4.9%に引き上げました。中国は、今年前半の経済成長の強さと外需による寄与から、17年を6.8%、18年を6.5%に上方修正しました。インドは、税制改正に伴う混乱から、17年を6.7%、18年を7.4%へ下方修正しました。一方、ブラジルは17年を0.7%、18年を1.5%に上方修正しました。

IMFは、「世界経済の成長予測における当面のリスクはほぼ均衡状態にあるが、中期的には依然として下振れ方向に傾いている」と指摘し、各国の景気局面に適さない拙速/巧遅な金融財政政策を講じることや、保護主義への転換などの政策の内向き化は世界経済のリスクを高めかねないと言及しています。

IMFの世界経済見通し

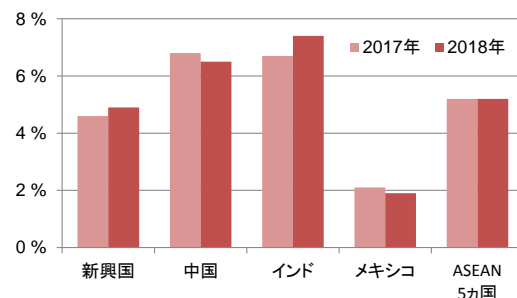
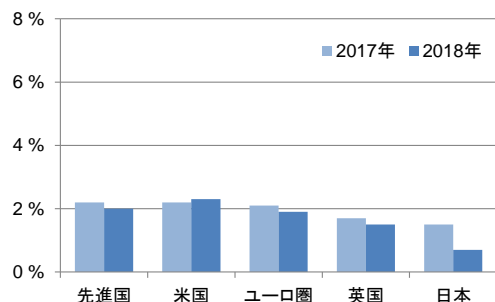
<白背景部分は2017年7月時点の予測との比較(%ポイント)>

	2015年	16年	17年予測	18年予測		
世界	3.4%	3.2%	3.6%	0.1	3.7%	0.1
先進国	2.2%	1.7%	2.2%	0.2	2.0%	0.1
米国	2.9%	1.5%	2.2%	0.1	2.3%	0.2
ユーロ圏	2.0%	1.8%	2.1%	0.2	1.9%	0.2
ドイツ	1.5%	1.9%	2.0%	0.2	1.8%	0.2
日本	1.1%	1.0%	1.5%	0.2	0.7%	0.1
英国	2.2%	1.8%	1.7%	0.0	1.5%	0.0
カナダ	0.9%	1.5%	3.0%	0.5	2.1%	0.2
新興国	4.3%	4.3%	4.6%	0.0	4.9%	0.1
中・東欧*	4.7%	3.1%	4.5%	1.0	3.5%	0.3
ロシア	-2.8%	-0.2%	1.8%	0.4	1.6%	0.2
アジア	6.8%	6.4%	6.5%	0.0	6.5%	0.0
中国	6.9%	6.7%	6.8%	0.1	6.5%	0.1
インド**	8.0%	7.1%	6.7%	-0.5	7.4%	-0.3
ASEAN5カ国***	4.9%	4.9%	5.2%	0.1	5.2%	0.0
中南米ほか	0.1%	-0.9%	1.2%	0.2	1.9%	0.0
ブラジル	-3.8%	-3.6%	0.7%	0.4	1.5%	0.2
メキシコ	2.6%	2.3%	2.1%	0.2	1.9%	-0.1
中東・北アフリカ	2.6%	5.1%	2.2%	0.0	3.2%	0.2
サハラ以南のアフリカ	3.4%	1.4%	2.6%	-0.1	3.4%	-0.1
南アフリカ	1.3%	0.3%	0.7%	-0.3	1.1%	-0.1

(出所: IMF「World Economic Outlook, October 2017」)

※上記は過去のものおよび予測であり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

主な先進国(上)、新興国(下)の経済成長率 (2017年、2018年予測)



*ロシアなど、CIS(独立国家共同体)構成国を含まない

**年度ベース(上記各年の4月から翌年3月まで)

***インドネシア、マレーシア、フィリピン、タイ、ベトナム